「伝統と文化」を軸にした学習【実践事例】

○　第６学年　総合的な学習の時間 単元名「京都や地域の魅力を『未来へ』」単元計画及び学習指導略案

◇本単元設定の理由

本市「学校教育の重点」にも記載されているとおり，本市は「歴史都市」「観光都市」「国際都市」等，多様な都市特性をもっており，日本の伝統・文化を日本はもとより世界に発信していく使命を担う都市でもある。しかし，今後，実際に子どもたちが本市の多様な「伝統と文化」を広く発信していくためには，発信するという経験知の積み重ねが必要であると考える。

そこで，本単元では，「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて体感したことを，未来へ残していきたい京都や地域の魅力として，他校の子どもたちと互いに発信・交流する。本単元で学んだことを他校の子どもたちと互いに発信・交流することで，子どもの中に「伝統と文化」についての新たな気付きが生まれ，更に，「伝統と文化」についての理解や考えを深めることができると考える。そして，理解や考えの深まりが京都や地域の「伝統と文化」を大切にしていこうとする態度の形成につながると考え，本単元を構想した。

◇本単元の目標

未来に伝えていきたい『京都や地域の魅力』について学んだことを，他校と互いに発信・交流することを通して，京都や地域の『伝統と文化』に対する理解を深める。

◇本単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】
- ・手段を選択し，情報を収集する。
- ・相手や目的に応じて，分かりやすくまとめ，表現する。

【自分自身に関すること】
- ・目標を設定し，課題の解決に向けて行動する。

【他者や社会との関わりに関すること】
- ・他者や社会とのつながりを受けとめたり，他者と協同して取り組んだりする。

◇本単元の評価規準

【関心・意欲・態度】

○「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて関心をもち，自ら追究していく課題を決定している。

○「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて学んだことから，京都や地域の一員としての自覚をもつとともに，京都や地域の「伝統と文化」を大切にしようとしている。

【思考・判断・表現】

○「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて体感したこと（みたり，きいたり，読んだり，触れたり，感じたり，親しんだりしたこと）を分かりやすく表現している。

【技能】

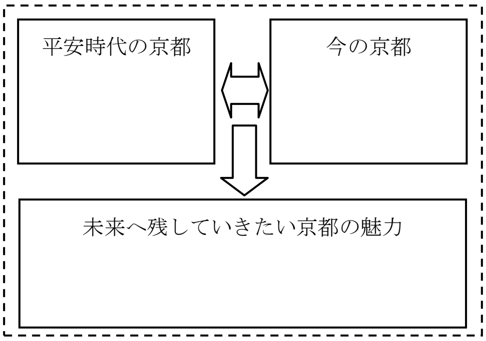
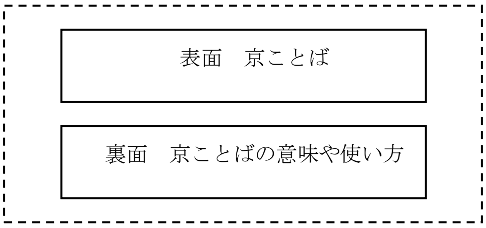
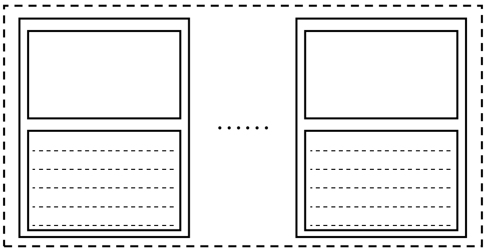
○「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて，実物（複製）や年表，図書資料を活用したり，聞き取り調査したりして，必要な情報を集めている。

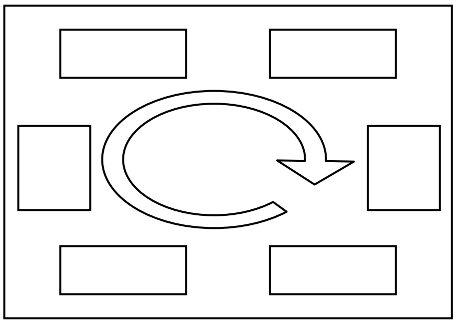
【知識・理解】

○これまで見過ごしてきた京都や地域の中にも，「京都の歴史」「世界文化遺産」などといった京都や地域の魅力として誇れるものがあることを理解している。

◇本単元の展開（全２０時間）

時	学習活動（◇）と子どもの反応（・）	必要な教材など（◆） 「伝統と文化」に関わって必ず提示する教材（(伝)）	支援（＊）留意点（○） 評価 【但し，「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，(伝)及び**太字ゴシック**で示す。】
1・2・3	◇「学習に活用できる『平安京創生館』」を見て，「古典の日記念 京都市平安京創生館を見学したときのことを振り返る。 ・平安京復元模型から「平安京」の位置を確認することができたね。 ・貴族の服を着ることができたね。 ・「貝合せ」を体験することができたね。 ・国宝「洛中洛外図屏風（上杉本)」には，室町時代の京都が描かれていたね。 ◇国宝「洛中洛外図屏風（上杉本)」の写真資料を観察し，その中から，京都の伝統として，今後も大切にしていきたいものを選ぶ。 ・金閣寺や銀閣寺，清水寺は世界文化遺産として今後も大切にしていきたいね。 ・祇園祭の鉾は，祇園祭の代表的なものとして大切にしていきたいものだね。 ・お正月の遊びが描かれているね。お正月の遊びも残していきたいね。 ◇「京都で伝統としてつながっているもの，また，2020 年の東京オリンピックをきっかけに世界へ発信していきたい『京都や地域の魅力』を探して，追究していこう。」というめあてを知る。 ・屏風に描かれていた祇園祭も昔からつながっているものの一つだね。その意味について調べていきたいです。 ・「貝合せ」など，遊びについて調べていきたいです。 ・京都の言葉（京ことば）について調べ，伝えたいです。	(伝)「学習に活用できる『平安京創生館』」 ◆見学時のノートあるいはワークシート (伝)国宝「洛中洛外図屏風（上杉本)」の写真資料 (伝)ワークシート「京都の伝統として，今後も大切にしていきたいもの」 (伝)資料「京都の歴史年表」 ◆東京オリンピックのロゴマーク	(伝)**「古典の日記念　京都市平安京創生館（以下，創生館)」の「平安京創生館『探検マップ』」を用いることで，創生館を見学したときに，平安京復元模型や狩衣（かりぎぬ：男性・男児の装飾)・袿（うちき：女性・女児の装飾）等の資料があったことを振り返ることができるようにする。** (伝)**国宝「洛中洛外図屏風（上杉本)」を観察する場を設けることで，清水寺や東寺，祇園祭など，現在にもつながるものがあることに関心をもつことができるようにする。** 【関心・意欲・態度】 国宝「洛中洛外図屏風（上杉本)」の写真資料に関心をもち，京都の伝統として，今後も大切にしていきたいものという視点をもち，情報を読み取ろうとしている。 （ワークシート） (伝)**「京都の歴史年表」に 2020 年を示しておくことで，「過去−現在−未来」という時間軸で「京都の歴史」をとらえることができるようにする。**

4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13 ・ 14 ・ 15	◇京都で伝統としてつながっているもの，また 2020 年に「京都や地域の魅力」を探して，それを追究し，整理・分析して，まとめる。 ・「京都の歴史」，特に平安時代の学びを深めたいです。そして，平安時代と今の京都を比べて考えたことを未来に残していきたい京都の魅力として画用紙にまとめたいと考えています。 ＜イメージ＞  ・「京都の言語文化」として，平安時代に生まれた「かな文字」は現代に生かされているということから，言葉に興味をもちました。京ことばについて調べて，京ことばカードにまとめたいと考えています。 ＜イメージ＞  ・未来に伝えていきたい，外国人の方にも伝えたい「京都の食文化」として京菓子について調べていきたいです。調べたことは，絵と文でまとめて綴じることができればと考えています。 ＜イメージ＞ 	(伝)「学習に活用できる『平安京創生館』」 (伝)京都ジュニア京都検定 (伝)ストーリーシート ◆施設（今回においては，京都アスニー）での発表の場や発表順等を示した掲示物	○「京都の歴史」「世界文化遺産」などのテーマに絞るとともに，テーマ別で追究する場を設ける。 ○第４時においては，自ら追究していく事象を決めるとともに，追究したことをどのような方法でまとめると良いのか，つまり「何を」「どのように伝えるか」について，見通しをもって追究したり，集めた情報を整理・分析したりできるようにする。 【技能】 未来へ残していきたい「京都や地域の魅力」について，実物（複製）や年表，図書資料を活用したり，聞き取り調査したりして，必要な情報を集めている。 （ワークシート） 【知識・理解】 京都や地域の中には，「京都の歴史」「世界文化遺産」などといった京都や地域の魅力として誇れるものがあることを理解している。 （ワークシート） ＊他校と共に「施設（今回においては，京都アスニー）」に集い，発信・交流する。このことから，目的意識を明確にして学びをまとめることができるようにする。 【思考・判断・表現】 「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて体感したこと（みたり,きいたり,読んだり,触れたり，感じたり，親しんだりしたこと）を分かりやすく表現している。 （行動観察・成果物）

16 ・ 17 ・ 18 ・ 19	◇他校と共に施設（今回においては，京都アスニー）に集い，「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」を発信・交流する。 ＜場の設定イメージ＞ ①あいさつをする。 ②発信・交流のめあてを確認する。 ③A・B校の 1st グループが各ブースで自分たちの学びを発信する。A・B校の 2nd グループは，各ブースを回り，発信に対する気付きや感想を記録したり，質疑をしたりする。 ④A・B校の 2nd グループが各ブースで自分たちの学びを発信する。A・B校の 1st グループは，各ブースを回り，発信に対する気付きや感想を記録したり，質疑をしたりする。  ⑤全体で，学んだことを交流する。 ⑥あいさつをする。	◆施設（今回においては，京都アスニー）での発表の場や発表順等を示した掲示物	○気にかかる児童や支援の必要な児童の様子を観察する。 【思考・判断・表現】 「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて体感したこと（みたり,きいたり,読んだり,触れたり，感じたり，親しんだりしたこと）を分かりやすく発信している。 （行動観察・成果物） ○可能であれば，施設活用（今回であれば，京都アスニーの活用）についての事前の打合せの際に，⑥の「あいさつをする。」場面において，施設（今回においては，京都アスニー）で働く方が考えておられる「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」についてお話をしていただくことを依頼しておく。あくまでも，京都や地域の一員としての考えを述べていただくことを伝える。
20	◇学習したことを振り返る。 ・私は「京都の歴史」，特に，平安時代の京都について追究してきた。交流した〇〇小学校の中には，「現代の私たちも平安時代の文化にふれることができる」というテーマで，発信しているグループがあった。「紫式部の『源氏物語』の世界は，今，伝記になっています。つまり，私たちは平安時代の様子を味わうことができるのです。」という発表が印象に残った。今，歴史について知ることは，未来へつながるということも学んだ。「平安時代」について学んだことを未来へ残していきたい。	(伝)ワークシート「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」	＊テーマを「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」とし，京都や地域の一員としての自覚をもつとともに，京都や地域の「伝統と文化」についての考えをまとめることができるようにする。 【関心・意欲・態度】 京都や地域の一員としての自覚をもつとともに，京都や地域の「伝統と文化」を大切にしようとしている。 （ワークシート「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」）

伝統文化教育

総合的な学習の時間　学習指導案

６年　組　指導者　○○　○○

1　日　時　　平成○年○月○日（○）○校時

2　単元名　　「京都や地域の魅力を『未来へ』」

3　単元の目標　・「京都の歴史」「京都の言語文化」等について理解し考えたことを，未来へと残していきたい京都や地域の魅力として校内や地域に向けて発信したり，他校と発信・交流したりすることを通して，京都や地域の「伝統と文化」に対する親しみと愛着を高める。

4　本時の目標　既習事項を振り返ったり，写真資料に関心をもったりすることから，京都の伝統として，今後も大切にしていきたいものという視点をもち，情報を読み取ることができるようにする。

5　本時の展開　１・２・３／20 時間

学習活動	主な発問（◇）主な指示（□） 予想される児童の反応（・） 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など（◆） 伝統と文化に関わって必ず提示する資料（㊐）	支援（＊）留意点（○）評価 【但し，「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊐及び**太字ゴシック**で示す。】
1　「学習に活用できる『平安京創生館』を見て，「古典の日記念 京都市平安京創生館」を見学したときのことを振り返る。	◇「学習に活用できる『平安京創生館』」を見て，「古典の日記念 京都市平安京創生館」を見学したときのことを振り返りましょう。 ・平安京復元模型から「平安京」の位置を確認することができたね。 ・私たちの校区も平安京の中にあることがわかったね。 ・貴族の服を着ることができたね。 ・「貝合せ」や「双六」を体験することができたね。 ・古典に関する本を読むことができたね。 ・国宝「洛中洛外図屏風（上杉本）」には，室町時代の京都が描かれていたね。	㊐「学習に活用できる『平安京創生館』」 ◆見学時のノートあるいはワークシート	○学習活動１の発問の前に，総合的な学習の時間においては，環境教育についての学びを積み重ねてきていることを確かめる。一見，環境教育と「伝統と文化」に視点を当てた学習は離れているようだが，実は，生活様式や時代ごとの環境の変化，また，不易なものがあるなど，関連していることに本単元での学びを通して，気付くことができるようにする。 ㊐**「古典の日記念　京都市平安京創生館（以下，創生館）」の「平安京創生館『探検マップ』」を用いることで，創生館を見学したときに，平安京復元模型や狩衣（かりぎぬ：男性・男児の装飾）・袿（うちき：女性・女児の装飾）等の資料があったことを振り返ることができるようにする。**

2　国宝「洛中洛外図屏風（上杉本）」の写真資料を観察し，その中から，京都の伝統として，今後も大切にしていきたいものを選ぶ。	国宝「洛中洛外図屏風（上杉本）」の写真資料を観察し，その中から，京都の伝統として，今後も大切にしていきたいものを選ぼう。 ・金閣寺や銀閣寺，清水寺は「世界文化遺産」として今後も大切にしていきたいね。 ・東寺は，「平安京」の頃からあったのだね。東寺も大切にしていきたいね。 ・鞍馬寺や北野天満宮など，桜の名所も大切にしていきたいね。 ・嵐山も観光名所として大切にしていきたいね。 ・長刀鉾は祇園祭の代表的なものとして大切にしていきたいものだね。 ・お正月の遊びが描かれているね。お正月の遊びも残していきたいね。	(伝)国宝「洛中洛外図屏風（上杉本）」の写真資料 (伝)ワークシート「京都の伝統として，今後も大切にしていきたいもの」	**(伝)国宝「洛中洛外図屏風（上杉本）」を観察する場を設けることで，清水寺や東寺，祇園祭など，現在にもつながるものがあることに関心をもつことができるようにする。** 【関心・意欲・態度】 国宝「洛中洛外図屏風（上杉本）」の写真資料に関心をもち，京都の伝統として，今後も大切にしていきたいものという視点をもち，情報を読み取ろうとしている。 （ワークシート「京都の伝統として，今後も大切にしていきたいもの」）
3　次時以降のめあてを知る。	◇「京都で伝統としてつながっているもの，また，2020 年の東京オリンピックをきっかけに世界へ発信していきたい『京都や地域の魅力』を探して，追究していこう。」という次時以降のめあてを知る。 ・2020 年，私たちは 17 歳か 18 歳になっているね。 ・僕が 2020 年に残していきたいものは「貝合せ」です。 ・私は，「祇園祭」を残していきたいです。	(伝)資料「京都の歴史年表」 ◆東京オリンピックのロゴマーク	**(伝)「京都の歴史年表」を資料として用いることで，京都における歴史的事象をとらえることができるようにする。また，「過去−現在−未来」といった時間軸をとらえることができるようにする。**

6　板書計画

月　日　時間目　　「京都や地域の魅力を『未来へ』」

環境教育で学んできていること

⇒エネルギー
　エコ技術
　地球温暖化

実は，**京都の「伝統と文化」**も「環境教育」の大切な視点の一つ！

学習に活用できる「平安京創生館」

- 平安京復元模型から「平安京」の位置を確認できた。
  ⇒私たちの校区も平安京の中にある。
- 貴族の服を着ることができた。
- 「貝合せ」「双六」を体験することができた。
- 古典に関する本を読むことができた。
- 国宝「洛中洛外図屏風（上杉本)」には，室町時代の京都が描かれていた。

金閣寺，銀閣寺，清水寺
⇒「世界文化遺産」

東寺
⇒「平安京」の頃から

国宝「洛中洛外図屏風（上杉本)」の中から，
京都の伝統として，今後も大切にしていきたいものを選ぼう。

鞍馬寺，北野天満宮
⇒桜の名所

長刀鉾
⇒祇園祭を代表するもの

お正月遊び
⇒こま回しなど

京都で伝統としてつながっているもの，また，2020 年の東京オリンピックをきっかけに世界へ発信していきたい「京都や地域の魅力」を探して，その意味を追究していこう。

東京
オリンピック
のロゴマーク

伝統文化教育

総合的な学習の時間　学習指導案

６年　組　指導者　○○　○○

１　日　時　　平成○年○月○日（○）○校時

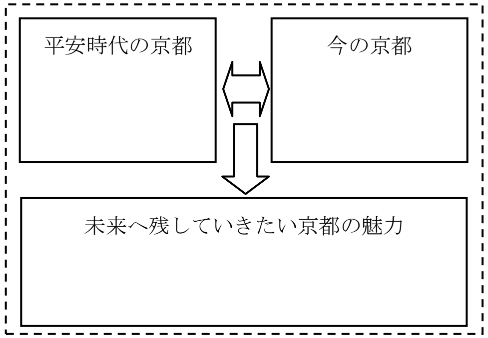
２　単元名　　「京都や地域の魅力を『未来へ』」

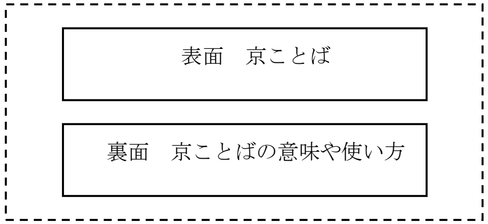
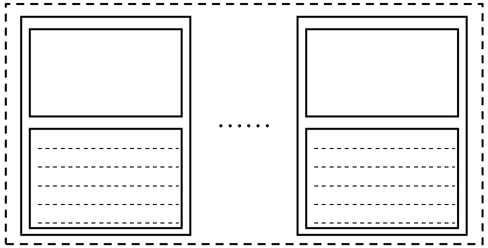
３　単元の目標　・「京都の歴史」「京都の言語文化」等について理解し考えたことを，未来へと残していきたい京都や地域の魅力として校内や地域に向けて発信したり，他校と発信・交流したりすることを通して，京都や地域の「伝統と文化」に対する親しみと愛着を高める。

４　本時の目標　京都で伝統としてつながっているもの，また 2020 年に「京都や地域の魅力」を探して，その意味を追究し，それを整理・分析して，まとめることができるようにする。

５　本時の展開　４・５・６・７・８・９・10・11・12・13・14・15・16／20 時間

学習活動	主な発問（◇）主な指示（□） 予想される児童の反応（・） 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など（◆） 伝統と文化に関わって必ず提示する資料（㊎）	支援（＊）留意点（○）評価 【但し，「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊎及び**太字ゴシック**で示す。】
１　学習のめあてを確認する。	◇学習のめあてを確認しましょう。 ・たしか，京都の伝統としてつながっているものや 2020 年に残していきたい「京都や地域の魅力」を探して，その意味を追究していくのだったね。 京都で伝統としてつながっているもの，また，2020 年に残していきたい「京都や地域の魅力」を探して，その意味を追究していこう。		○前時の板書記録を側面に掲示しておくことで，学習のめあてを確認することができるようにする。
２　追究していく事象を決める。	◇京都で伝統としてつながっているもの，また，2020 年に残していきたい「京都や地域の魅力」として，どのようなことが思い浮かびますか。 ・世界文化遺産といった「京都の歴史」に関するものには，京都の伝統としてつな	㊎「学習に活用できる『平安京創生館』」 ㊎京都ジュニア京都検定	㊎**「学習に活用できる『平安京創生館』」や京都ジュニア京都検定を参考にし，「京都の歴史」「世界文化遺産」など，追究していく事象（テーマ）を決めることができるようにする。** ○事象（テーマ）別で追究する場を設ける。 ＊第４時においては，自ら追究していく事象を決

3　事象（テーマ）別で追究し，整理・分析しながらまとめる。	がっていると思います。 ・「古典の日記念 京都市平安京創生館」に行ったときに，「古典」は昔のことを知ることができる大切なものだと思いました。「古典」も 2020 年に残していきたいです。 ・僕たちが今，生活をしたり，学んだりしている地域は，「平安京」とつながっていると実感しました。この地域がどのように変わってきたのかを調べることもおもしろいかなと思います。 ◇自分たちが決めたテーマについて調べていきましょう。 ・「京都の歴史」，特に平安時代の学びを深めたいです。そして，平安時代と今の京都を比べて考えたことを未来に残していきたい京都の魅力として画用紙にまとめたいと考えています。 ＜イメージ＞  	(伝)ストーリーシート	めるとともに，追究したことをどのような方法でまとめると良いのか，つまり「何を」「どのように伝えるか」について，見通しをもって追究したり，集めた情報を整理・分析したりできるようにする。 (伝)**ストーリーシートを用意することで，「過去－現在－未来（2020 年）」といった時間軸を意識して追究することができるようにする。（個々の学びを保障する。）** ○追究する事象として，「生活様式の変化」や「京都の環境の変化」を取り上げることも可能である。 【技能】 未来へ残していきたい「京都や地域の魅力」について，実物（複製）や年表，図書資料を活用したり，聞き取り調査したりして，必要な情報を集めている。 （ワークシート）

	・「京都の言語文化」として，平安時代に生まれた「かな文字」は現代に生かされているということから，言葉に興味をもちました。京ことばについて調べて，京ことばカードにまとめたいと考えています。 <イメージ>  ・未来に伝えていきたい，外国人の方にも伝えたい「京都の食文化」として京菓子について調べていきたいです。調べたことは，絵と文でまとめて綴じることができればと考えています。 <イメージ> 	◆施設（今回においては，京都アスニー）での発表の場や発表順等を示した掲示物	【知識・理解】 京都や地域の中には，「京都の歴史」「世界文化遺産」などといった京都や地域の魅力として誇れるものがあることを理解している。 （ワークシート） ＊他校と共に「施設（今回においては，京都アスニー）」に集い，発信・交流する場面を設定することで，目的意識を明確にして学びをまとめることができるようにする。 【思考・判断・表現】 「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて体感したこと（みたり,きいたり,読んだり,触れたり，感じたり，親しんだりしたこと）を分かりやすく表現している。 （行動観察・成果物）

6　板書計画

月　日　時間目

「京都や地域の魅力を『未来へ』」

京都で伝統としてつながっているもの，また，2020 年に残していきたい「京都や地域の魅力」を探して，その意味を追究していこう。

＜イメージ：京都の歴史＞

平安時代の京都 ⇔ 今の京都

↓

未来へ残していきたい京都の魅力

＜イメージ：京都の言語文化＞

表面　京ことば

裏面　京ことばの意味や使い方

＜イメージ：京都の食文化＞

…

発表の場及び

発表の方法

＜イメージ：生活様式の変化＞

平安時代の生活様式 ⇔ 今の生活様式

↓

未来へ残していきたい京都の生活様式

＜イメージ：京都の環境の変化＞

…

伝統文化教育

総合的な学習の時間　学習指導案

6年　組　指導者　○○　○○

1　日　時　　平成○年○月○日（○）○校時

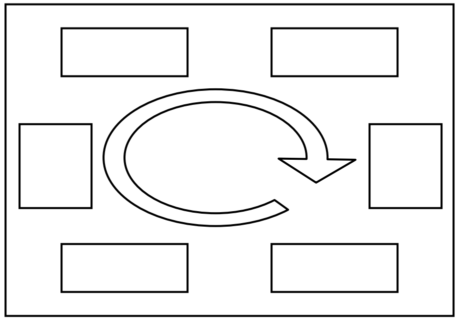
2　単元名　　「京都や地域の魅力を『未来へ』」

3　単元の目標　・「京都の歴史」「京都の言語文化」等について理解し考えたことを，未来へと残していきたい京都や地域の魅力として校内や地域に向けて発信したり，他校と発信・交流したりすることを通して，京都や地域の「伝統と文化」に対する親しみと愛着を高める。

4　本時の目標　「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」を他校に向けて発信したり，交流したりすることができるようにする。

5　本時の展開　17・18・19／20 時間

学習活動	主な発問（◇）主な指示（□） 予想される児童の反応（・） 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など（◆） 伝統と文化に関わって必ず提示する資料（㊷）	支援（＊）留意点（○）評価 【但し，「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊷及び**太字ゴシック**で示す。】
1　施設（今回においては，京都アスニー）に集ったごとに整列し，あいさつをする。	<場の設定イメージ> ①あいさつをする。	◆施設（今回においては，京都アスニー）での発表の場や発表順等を示した掲示物	
2　学習のめあてを確認し，発信・交流する。	②発信・交流のめあてを確認する。 みんなが考えている「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」とは何だろう。みんなの考えを発信したり，交流したりしよう。 ③A・B校の 1st グループが各ブースで自分たちの学びを発信する。A・B校の 2nd グループは，各ブースを回り，発信に対する気付きや感想を	㊷第 16 時までにまとめたもの（発信する内容） ＊<実践時のタイムテーブル>参照	○気にかかる児童や支援の必要な児童の様子を観察する。 ＊「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて体感したこと（みたり，きいたり，読んだり，触れたり，感じたり，親しんだりすること）を，未来へ残していきたい京都や地域の魅力として発信・交流する場面を設定することで，児童が京都や地域の「伝統と文化」について学び得た

	記録したり，質疑をしたりする。 ④A・B校の 2nd グループが各ブースで自分たちの学びを発信する。A・B校の 1st グループは，各ブースを回り，発信に対する気付きや感想を記録したり，質疑をしたりする。 		ことやそのよさを実感し，「今まで意識したことがなかったけれど，京都には大切にしていきたい歴史や文化がある。」「学習したことをもとにして，京都や地域の祭のことをさらに知りたい。」といったように，京都や地域の「伝統と文化」を大切にする態度の形成につながるようにする。 【思考・判断・表現】 「京都の歴史」「世界文化遺産」などについて体感したこと（みたり,きいたり,読んだり,触れたり，感じたり，親しんだりしたこと）を分かりやすく発信している。 （行動観察・成果物）
3　発信・交流し，新たに学んだり，気付いたりしたことを交流する。	⑤全体で，学んだことを交流する。 ・平安京の道筋が現在にも残っていることについては，私たちだけではなく，〇〇校も語り継いでいきたいと発表していました。今日，〇〇校との発信・交流をして，京都には大切にしていきたい歴史や文化が数多くあることを改めて意識することができました。 ⑥あいさつをする。		○可能であれば，施設活用（今回であれば，京都アスニーの活用）についての事前の打合せの際に，⑥の「あいさつをする。」場面において，施設（今回においては，京都アスニー）で働く方が考えておられる「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」についてお話をしていただくことを依頼しておく。あくまでも，京都や地域の一員としての考えを述べていただくことを伝える。

6　提示する資料（めあて及び場の設定等）

みんなが考えている「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」とは何だろう。みんなの考えを発信したり，交流したりしよう。

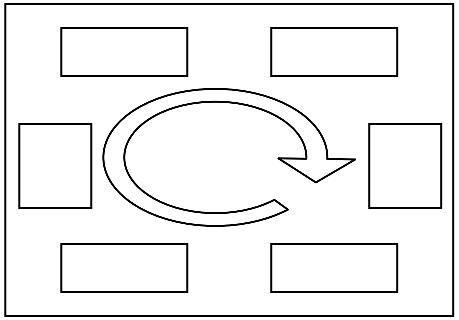
<場の設定イメージ>

①あいさつをする。

②発信・交流のめあてを確認する。

③A・B校の 1st グループが各ブースで自分たちの学びを発信する。A・B校の 2nd グループは，各ブースを回り，発信に対する気付きや感想を記録したり，質疑をしたりする。

④A・B校の 2nd グループが各ブースで自分たちの学びを発信する。A・B校の 1st グループは，各ブースを回り，発信に対する気付きや感想を記録したり，質疑をしたりする。



⑤全体で，学んだことを交流する。

⑥あいさつをする。

<実践時のタイムテーブル>

「伝統と文化」の学びを発信・交流する会　タイムテーブル

〇参加校　　京都市立〇〇小学校，京都市立〇〇小学校

〇日時　　　平成26年◇月◇日（◇）午前10時～午前11時50分（京都アスニー3階第８研修室）

時間	主な流れ	子どもたち	参加校担任	京都アスニー及び 京都市総合教育センター職員	〇〇先生 〇〇先生	司会進行
10:00	開会及び学習の進め方の確認	指定された席に座り，学習の進め方をきく。	児童観察	児童観察	撮影	司会及び学習の進め方を説明する。 【プレゼンテーション】
10:10	課題別グループのA班（ポスターセッション形式での発信・交流）	課題別グループＡ班は，指定された場所に移動し，学んできたことを発信する。また，課題別グループB班は，それぞれの発表をきく（ワークシートにメモする）。	児童の行動観察 気にかかる児童及びグループを支援する。	児童の行動観察	撮影 ２～３グループ程	撮影補助及び児童の行動観察
10:30	トイレ休憩	トイレ休憩	児童の行動観察	児童の行動観察	児童の行動観察	児童の行動観察
10:40	課題別グループのB班（ポスターセッション形式での発信・交流）	課題別グループB班は，指定された場所に移動し，学んできたことを発信する。また，課題別グループ A 班は，それぞれの発表をきく（ワークシートにメモする）。	児童の行動観察 気にかかる児童及びグループを支援する。	児童の行動観察	撮影 ２～３グループ程	撮影補助及び児童の行動観察

11:00	*調整時間*					*進行具合を調整する。*
11:10	全体での感想交流	発信・交流を通して，再発見したことを付箋に書き，画用紙に貼る。	自校の子どもたちが書いた付箋を集める。	児童の行動観察	撮影	発信・交流を通して，再発見したことを付箋に書き，画用紙に貼ることを伝える。
11:30	「古典の日記念京都市平安京創生館」見学	荷物をもち，「古典の日記念　京都市平安京創生館」を見学し，再度，気がついたことをワークシートに記録する。	誘導及び児童の行動観察	児童の行動観察	撮影 ＊平安京復元模型周辺の児童を中心に。	誘導及び児童の行動観察
11:50	閉会・解散	安全に気を付けて学校に帰る。	帰校指導			閉会及び解散の声かけをする。

＊お願い

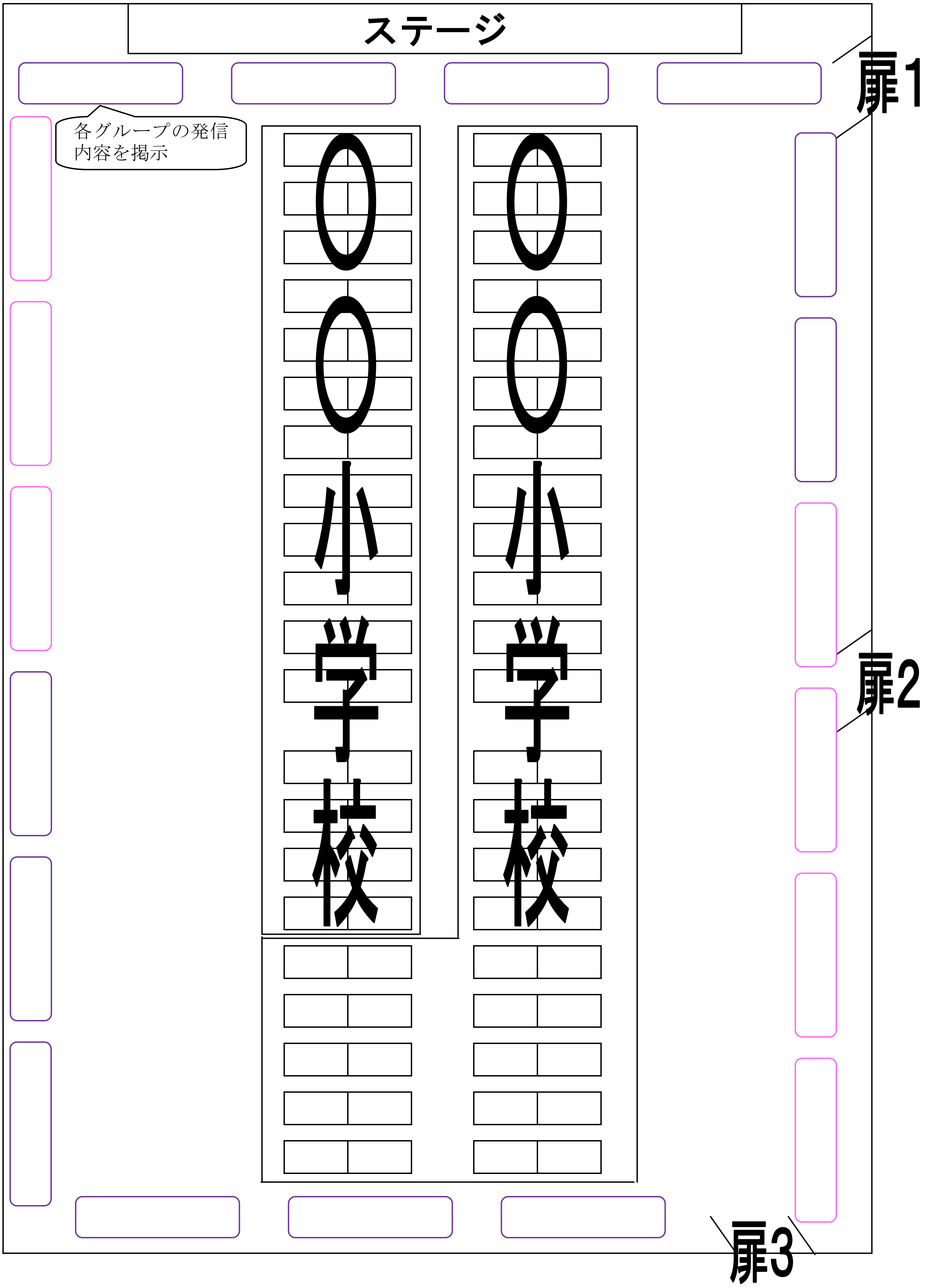
・午前 10 時の開会までに京都アスニー3 階第 8 研修室にお集まりください。

・持ち物は，子どもたちの発表資料・筆記用具・探検ボード・水筒です。【名前明記】

・本会には，安全管理のため，両校の子どもたちと教職員及び京都アスニー職員，教育関係者内での公開を考えております。予めご了承ください。

・本研究に関わって，また，京都アスニー内部の報告資料として，学習会の様子を静止画及び映像で記録させていただきたいと考えております。

○会場図イメージ：京都アスニー3 階第 8 研修室



伝統文化教育

総合的な学習の時間　学習指導案

６年　組　指導者　○○　○○

１　日　時　　平成○年○月○日（○）○校時

２　単元名　　「京都や地域の魅力を『未来へ』」

３　単元の目標　・「京都の歴史」「京都の言語文化」等について理解し考えたことを，未来へと残していきたい京都や地域の魅力として校内や地域に向けて発信したり，他校と発信・交流したりすることを通して，京都や地域の「伝統と文化」に対する親しみと愛着を高める。

４　本時の目標　「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」を発信・交流し，再発見したこと（新たに学んだり，気付いたりしたこと）を表出することができるようにする。

５　本時の展開　20／20 時間

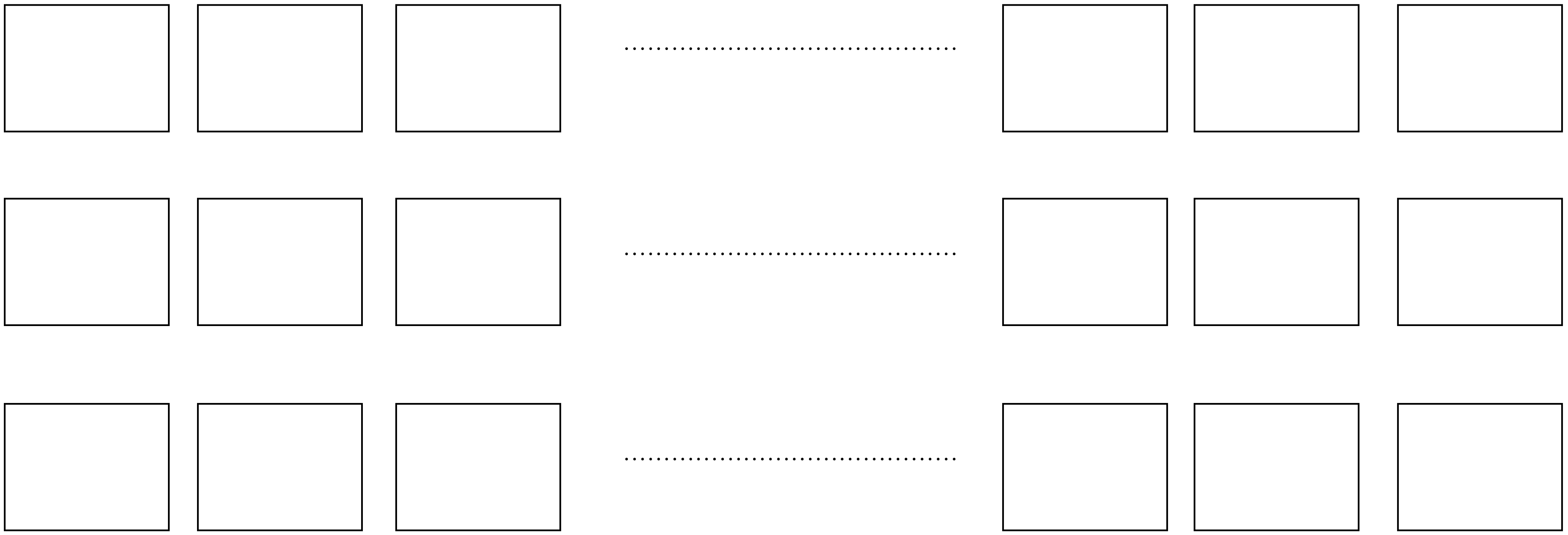
学習活動	主な発問（◇）主な指示（□） 予想される児童の反応（・） 「学習課題」あるいは「学習のめあて」	必要な資料など（◆） 伝統と文化に関わって必ず提示する資料（㊎）	支援（＊）留意点（○）評価 【但し，「地域で学ぶ強み」となる素材をどのように学習活動に組み込むのか，その支援については，㊎及び**太字ゴシック**で示す。】
１　学習したことを振り返るとともに，再発見したことを表出する。	◇学習してきたことを振り返り，まとめましょう。 「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」を発信・交流し，再発見したことは何だろう。 ・私は「京都の歴史」，特に，平安時代の京都について追究してきた。交流した○○小学校の中には，「現代の私たちも平安時代の文化にふれることができる」というテーマで，発信しているグループがあった。「紫式部の『源氏物語』の世界は，今，伝記になっています。つまり，私たちは平安時代の様子を味わうことができるのです。」という発表が印象に	㊎ワークシート「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」	○テーマを「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」とし，京都や地域の一員としての自覚をもつとともに，京都や地域の「伝統と文化」についての考えをまとめるようにする。 【関心・意欲・態度】 京都や地域の一員としての自覚をもつとともに，京都や地域の「伝統と文化」を大切にしようとしている。 （ワークシート「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」）

	残った。今，歴史について知ることは，未来へつながるということも学んだ。「平安時代」について学んだことを未来へ残していきたい。		

6　板書計画

月　日　時間目　　　　　「京都や地域の魅力を『未来へ』」

「『未来へ』残していきたい『京都や地域の魅力』」を発信・交流し，再発見したことは何だろう。



※子どもたちの一人一人のワークシート【全員分を掲示する。】